

みくまの マンスリータイムズ



小学部肢体不自由学級5・6年 修学旅行

1月1日、2日に、小学部肢体不自由学級5・6年生3名で串本方面へ修学旅行に行きました。1日目は串本海中公園で海の生き物をゆっくり見学し、おそろいのタオルをお土産に買いました。ホテルでは、おやつにソフトクリームを食べたり、大きなお風呂に入ったりと笑顔や満足そうな表情で満喫している様子うかがえました。

2日目は橋杭 ICO でトルコガラスを使ったキャンドルホルダー作りを体験しました。先生と一緒にガラスの柄やビーズの色を選び、みんな真剣な表情で取り組んでいました。とても楽しく、充実した2日間でした。



中学部 鯨踊り鑑賞

1月4日（金）に三輪崎郷土芸能保存会の方に来ていただき、1・2年生で鯨踊りを鑑賞しました。鯨踊りには昔の捕鯨の動きを取り入れており、綾棒を使って「ヨイハー」とかけ声を出して鯨にモリを打ち込む動作もその一つです。

当日は踊りだけでなく、太鼓・笛・歌も披露してくれました。生徒たちは踊りを集中して見ていました。鑑賞した後は、芸能保存会の方に踊りを教えていただき、事前に生徒が作っていたオリジナルの綾棒を振ったり、空中で回したりと楽しんでいました。

実際に地域の伝統的な動きを目にすることができ、生徒たちも地域の伝統文化について興味関心を深めることができました。



小学部 三輪崎小学校との学校間交流

11月4日（金）と11日（金）に三輪崎小学校4年生との学校間交流がありました。

低学年グループでは「パラバレーやボール集め、ブロック積みゲーム」をしました。「ブロック積み」は順番に1つずつ好きな形にブロックを積みあげていくゲームで、高く積むたびにバランスが崩れブロックが倒れてしまうことも……。たとえ倒れても、すぐに駆け寄り協力し仲良く積み直していく姿にみんなの一致団結さを感じた時間となりました。

高学年グループでは「缶運びゲーム」と「スクーターボード仲間集め」をしました。自分たちの番が近づくとお互いに誘い合って順番を待ったり、友だちの動きに合わせて歩くスピードを調整したりしながら活動に取り組む子どもたち。その姿にお互いを思い合う気持ちを感じ、さすが高学年！と感心した交流となりました。

肢体不自由児学級グループでは「ボウリング」をしました。みくまの子どもたちが活動しやすいよう、三輪崎小の友だちが係を分担したり、積極的に手伝ったりしてくれたので、お互い楽しく活動できました。活動が終わった後はすっかり仲良くなり、車椅子を押してもらいながら一緒に体育館へ行きました。

3つのグループそれぞれに楽しい思い出と仲の良い友だちができた交流となりました！



高等部肢体不自由学級 三重方面への修学旅行

11月9日（水）から11日（金）、2泊3日の三重方面への修学旅行に行ってきました。

天気に恵まれ、暖かく、人も多くなくて修学旅行には最高の3日間でした。

出発はバスの座席調整で予定時刻より遅くなりましたが、それ以外は順調に過ごすことができました。

1日目おやつタウン・なばなの里、2日目おはらい町おかげ横丁、3日目帰路という日程でした。なんと言ってもなばなの里のイルミネーションがきれいで、2人ともずっと見入っていました。光の回廊は想像以上に長くてきれいでしたし、メインイルミネーションの光と音楽、映像のコラボレーションは本当に圧巻でした。旅行後の事後学習や教室掲示の写真でもなばなの里のイルミネーションを見る度に、笑顔があふれていて、また家族みんなで行きたいという話で盛り上がりました。

2日目はおはらい町とおかげ横丁での買い物を中心でした。家族や友だち、そして自分のお土産選びを満喫していました。今回は伊勢神宮には参拝しなかったのですが、入り口付近で記念撮影を行い、少しだけ近づいてパワーのお裾分けをいただきました。

あっという間の3日間の修学旅行でしたが、旅行中だけでなく旅行後の2人の笑顔が何よりも素敵な思い出になったことを教えてくれました。



高等部知的障害学級3年生修学旅行

今年度も新型コロナウイルス感染症のために3年生の4・5組の修学旅行は10月から11月に延期、行き先も当初の東京から三重に変更、移動手段も貸切バスとなりました。

1日目の見学先は『伊勢神宮』。参拝の後、おかげ横丁での買い物を楽しみました。参拝している時にはよく降っていた雨も参拝のご利益か、買い物の時には雨のやみ間もあり、思っていたほどの悪天候とはなりませんでした。「おかげ犬」のサブレなど家族から頼まれていたお土産を買ったり、コロッケ、アイスクリームなどを買ってちょっと休憩したりとそれぞれに楽しんでいました。

2日目は『ナガシマスパーランド』で観覧車やジェットコースターに乗ったり、ショッピングを楽しんだりしながら、1日ゆっくと過ごしました。何人かの生徒は、最高部の高さが55mで360度の回転もある木製のジェットコースター『白鯨』にも挑戦していました。

そして、夜は『なばなの里のイルミネーション』に行きました。今年のイルミネーションのテーマは「天空の船」。きらめく夜空に浮かぶ巨大な帆船と海を舞台に繰り広げられる幻想的な光の世界を体験しました。

3日目は桑名イオンモールに行き、買い物。アニメイトやヴィレッジヴァンガードでアニメグッズを買ったり、東急ハンズの文具売り場でペンを買ったりとお目当てのものをゲットし、昼食もそこですませて帰路につきました。

新型コロナウイルス感染症のため、今年も色々な面で制約を受けた修学旅行でしたが、そうしたなかでも、旅行中には生徒たちの笑顔がたくさん見られました。思い出に残る3日間になったようです。

みくまのフェスティバル

11月16日（水）の5時間目に、生徒会主催の『みくまのフェスティバル』を行いました。

生徒会で意見を出し合い、全校児童生徒が楽しめるよう一発芸コンテストや腕相撲大会、お化け屋敷、射的やくじ引きなどを企画しました。準備にはたくさんの高等部生徒が協力してくれ、休憩時間を使って段ボールを組み立てたり、絵を描いたり、小道具を作ったりと、忙しいながらも和気あいあいと楽しそうな様子でした。

当日はドレスを着る児童や怪物になりきる生徒など、めいめいに仮装をして各コーナーを楽しみました。また、初めて実施する一発芸コンテストには、児童生徒や教職員ら9組が応募してくれ、それぞれダンスやコントなどをステージで披露してくれました。久しぶりの全校児童生徒が参加する行事で、学部の垣根を越えた楽しい思い出を作ることができました。

